

令和3年度香川県広報コンクール審査結果を発表します

1 審査結果

部 門		応募数	審 査 結 果	全国 推薦
広 報 紙	市部	8 市	最優秀賞 さぬき市（7月号）	○
			優 秀 賞 観音寺市（11月号）	○
	町部	4 町	最優秀賞 該当なし	
			優 秀 賞 小豆島町（11月号）	
広報写真	1 枚	6 市 4 町 計 10 点	最優秀賞 琴平町（9月号表紙）	○
			優 秀 賞 三木町（12月号表紙）	
	組み	6 市 2 町 計 9 点	最優秀賞 善通寺市 （6月号2～3ページ）	○
			優 秀 賞 高松市 （12月号4～5ページ）	
映 像	2 市 計 2 点	最優秀賞 高松市 （「高松、歴史礼賛『文化と共に生きる 讃岐のり染』」）	○	

※令和4年全国広報コンクールへは、各部門の最優秀賞4点と広報紙部門（市部）の優秀賞1点を推薦します。

2 審査講評

（1）広報紙部門

「市部」で最優秀賞となった「さぬき市」の作品（7月号）は、取材対象の子ども時代や家族の写真も多数載せることで「どこにでもいる普通の人」だと見事に浮き彫りにした。LGBTというテーマに正面から向き合ったいい企画であった。

（2）広報写真部門

ア 1枚写真の部

最優秀賞となった「琴平町」の作品（9月号、表紙）は、遊び心満点の構図であり、子どもたちの表情を取り込んだ写真は文句なしの作品であった。

イ 組み写真の部

最優秀賞となった「善通寺市」の作品（6月号、2～3ページ）は、若い世代に希望の灯をつないだ瞬間を捉えたいい写真。レイアウトも、訴える構成となっている。

(3) 映像部門

最優秀賞となった「高松市」の作品「高松、歴史礼賛『文化と共に生きる 讃岐のり染』」は「のり染」の基本的な紹介から、職人の技やこだわり、リポーターによる体験、職人三代の人間像、のり染の歴史と現状など、短い時間に情報が過不足なく盛り込まれていて一通りの情報を知ることができる。

3 審査会 書面での開催

4 主 催 香川県

5 趣 旨

市町の行政広報の技術向上を目的に、公益社団法人日本広報協会が行う令和4年全国広報コンクールの県予選を兼ねて、8市5町から応募のあった広報紙、広報写真、映像計33点（令和3年1月～12月の発行等）のコンクールを行いました。

※香川県広報コンクールは昭和41年度から始まり今回で56回目

※全国広報コンクールは昭和39年から始まり次回で58回目

6 審査員

《広報紙・広報写真部門》

(敬称略)

株式会社朝日新聞社高松総局長

山口 智久

株式会社四国新聞社編集局地方部部長

古田 忠弘

株式会社毎日新聞社高松支局長

佐々木 雅彦

株式会社読売新聞社高松総局長

上田 昌義

香川県情報発信参与

香西 彰美

《映像部門》

日本放送協会高松放送局放送部制作副部長

西條 暢高

株式会社瀬戸内海放送報道クリエイティブユニット統括マネジャー

本山 秀樹

株式会社西日本放送報道制作局長

小野 修一